

教員免許状更新講習のご案内

サマーリフレッシュプログラム

専門性を更に高めたい方へ

リカレント生としての受講も可能です

平成30年7月28日（土）～8月1日（水）

学校法人 郡山開成学園

郡山女子大学

郡山女子大学短期大学部

教員免許状更新講習

サマーリフレッシュプログラムお申込みの概略

教員免許状の修了確認期限および受講資格を確認します。

(文部科学省 HP や本案内10ページなど)

対象者である場合にお申込みができます。

申込フォームにアクセスし、必要事項を入力します。その際、パソコンより受信可能なメールアドレスの準備をお願いします。1メールアドレスにつき、1受付となります。定員に達した時点で、締め切らせていただきますので、予めご了承ください。選択領域は、3日間の受講です。1日ごとの受講はできませんので、ご注意ください。

受講可能な場合、申込みに必要な書類が郵送されてきます。



書類を作成し、受講料を振込みます。
書類を郵送します。



**書類および受講料振込が確認できた方から、受講者名簿に登録されます。
受講票が郵送されてきます。**

【お申込み時の諸注意】

1. 教員免許状更新講習について、**文部科学省のHP**で確認の上、**お申込みください。**
2. ご不明な点は、管轄する教育委員会にお問い合わせください。
3. お申込みの詳細は、11～12ページをご覧ください。
4. 「個人情報の保護に関する法律」に基づき、いただいた個人情報については、利用目的に沿って、適正にお取り扱いいたします。

①教育の最新事情（中・高教諭対象）

7月28日(土)

8:10～ 受付開始

8:50～ 開講式、諸連絡

<定員 90名>

時 限	時 間	内 容 および 担 当 者
I (90分)	9:00～10:30	国の教育政策や世界の教育の動向 石堂 常世 教授
II (90分)	10:40～12:10	教員としての子ども観、教育観等についての省察 石堂 常世 教授
III (90分)	13:10～14:40	子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見 (特別支援教育に関するものを含む。) 垣花 真一郎 明治学院大学 准教授
IV (90分)	14:50～16:20	子どもの生活の変化を踏まえた課題 泉 秀生 東京未来大学 講師
評価 (30分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 当講習では、①国の教育政策や世界の教育の動向、②教員としての子ども観、教育観、③子どもの発達に関する近年の知見と特別支援教育の課題、④子どもの生活習慣の変化を踏まえた新たな対応としての生徒指導の講義を行います。なお、④では、近年重要な課題となっている子どもの貧困問題や心のバリアフリーを扱いますが、①②③においても、当テーマについて適宜言及されます。当講習は、中高の教諭が標準対象ですが、小学校教諭の受講も可能です。

②幼児教育の最新事情（幼稚園教諭対象）

7月28日(土)

8:10～ 受付開始

8:50～ 開講式、諸連絡

<定員 120名>

時 限	時 間	内 容 及 び 担 当 者
I (90分)	9:00～10:30	国の教育政策 子育て支援制度・幼稚園教育要領 島山 祥正 宇都宮共和大学 教授
II (90分)	10:40～12:10	子どもの生活の変化を踏まえた課題と世界の教育の動向 柴田 卓 講師
III (90分)	13:10～14:40	子どもの発達に応じた現代的課題と特別なニーズをもつ子どもの理解 小林 徹 教授
IV (90分)	14:50～16:20	教員としての子ども観、教育観等についての省察 折笠 国康 准教授
評価(30分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 幼稚園教諭を主な対象とします。「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、世界観等についての省察」「子どもの発達に関する心理学等における最新の知見(特別支援教育に関するものを含む)」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の習得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指します。また、全ての子どもたちが夢と希望を持って成長していける社会を実現するために、子どもの貧困問題、心のバリアフリー等について理解を深めます。

中・高教諭対象（③～⑤から一つ受講）

7月29日(日)

③法令・学習指導要領の動向 <定員30名>

時 限	時 間	内 容 及 び 担 当 者
I (95分)	8:55～10:30	法令改正及び国の審議会の状況等 佐久間 邦友 講師
II (90分)	10:40～12:10	
III (90分)	13:10～14:40	学習指導要領の改訂の動向(道徳の教科化を含む) 関根 明伸 国士館大学 教授
IV (90分)	14:50～16:20	
評価(30分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 当講習においては、前半では「法令改正及び国の審議会の状況等」に通底する本質的動向を解説し、さらに、近年増加の一途をたどっている教育の場への様々な要請への対応を、教育政策的観点から考察いたします。後半では、戦後の学習指導要領の変遷を中心にとりあげながら、現行の学習指導要領の課題点と改訂に向けた近年の文科省の方針および改革の動向について理解を深めていきます。

④教育の情報化 <定員30名>

時 限	時 間	内 容 及 び 担 当 者
I (95分)	8:55～10:30	石原 正道 准教授
II (90分)	10:40～12:10	
III (90分)	13:10～14:40	山口 猛 講師
IV (90分)	14:50～16:20	
評価(30分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 情報通信技術の環境整備が進み、授業での活用力が求められています。しかし既存のデジタル教材だけでは柔軟な授業展開が困難です。そこで、教員が独自のデジタル教材を開発する方法の理解を深めることを目指します。また情報機器を用いた際にトラブルが発生していることをふまえ、情報通信における環境を安全に利用するための情報セキュリティや情報倫理について学ぶこととします。

⑤教育相談<定員40名>

時 限	時 間	内 容 及 び 担 当 者
I (95分)	8:55～10:30	折笠 国康 准教授
II (90分)	10:40～12:10	
III (90分)	13:10～14:40	生島 浩 福島大学 教授
IV (90分)	14:50～16:20	
評価(30分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 教育相談の最新の研究成果を学びます。講習の前半では、学級全体や個の生徒の様子を客観的に俯瞰するために、学級満足度尺度(Q-U)の基本的な読み取り方を学びます。更に、時代に即した学級経営や生徒指導とはどのようなものなのかについて、アドラー心理学等を基に考察します。講習の後半では、不登校はもとより、発達障害、非行、いじめなど事例を通して相談の理論と実際、留意点を詳述する。特に、非行問題との関連を中心に、保護者への対応について事例に基づいて実践手法を学びます。

幼稚園教諭対象（⑥、⑦のうち、一つ受講）

7月29日(日)

⑥組織的対応の必要性・危機管理上の課題 <定員60名>

時 限	時 間	内 容 及 び 担 当 者
I (95分)	8:55～10:30	園の内外の各種問題に対する組織的対応の必要性 安齊 悦子 大槻中央幼稚園 園長
II (90分)	10:40～12:10	
III (90分)	13:10～14:40	園の内外における危機管理上の課題 賀門 康博 本学附属幼稚園 園長
IV (90分)	14:50～16:20	
評価(30分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 園内外の各種問題に対する組織的な対応策及び危機管理上の課題について実践例をもとに理解を深めることを目指します。

⑦保育相談支援 <定員60名>

時 限	時 間	内 容 及 び 担 当 者
I (95分)	8:55～10:30	富士盛 公年 教授
II (90分)	10:40～12:10	
III (90分)	13:10～14:40	小林 徹 教授
IV (90分)	14:50～16:20	
評価(30分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 教育相談の最新の研究成果を学びます。コラージュなどのアセスメントの方法と事例、解決志向ブリーフ・セラピーの具体的な面接技法、危機対応の方法について具体的な説明をします。また、保育現場では障がい児の将来像をイメージした支援が望ましいが、就学先との連携は難しい状況にある。本講習では特別支援学級における教育および地域支援の実践事例から、障がい児の将来を見通したヒントを導き出す。

家庭科（中・高教諭対象）（⑧～⑩ 3日間の受講）

7月30日(月)

⑧家庭科Ⅰ 家族・福祉と家庭経営 <定員40名>

時限	時間	内容及び担当者
I (95分)	8:55～10:30	学校と家庭で考える子どもの健康 ～インターネット・ゲーム依存とメンタル・ヘルス～ 堀 琴美 講師
II (90分)	10:40～12:10	学校と家庭で考える子どもの発達 ～進化するTV ゲームが心と脳に与える影響～ 堀 琴美 講師
III (90分)	13:10～14:40	女性の労働と家庭生活 安田 純子 教授
IV (90分)	14:50～16:20	経済と家庭経営 長谷川 貴弘 講師
評価(30分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 I、IIコマは、ネットやゲームへの長時間の没頭が子どもの健康や脳の発達に及ぼす影響について考えます。IIIコマは、ライフコースの多様化にともなう働く女性の現状から、仕事と生活の課題について考察します。IVコマは、企業・政府と共に社会の重要な単位としての「家計(家庭)」の経済活動が、ライフステージに伴いどのような変遷をたどるかについて分析します。

7月31日(火)

⑨家庭科Ⅱ 快適な衣食住 <定員40名>

時限	時間	内容及び担当者
I (95分)	8:55～10:30	食品選択と安心安全～食品中の放射性物質～ 武地 誠一 准教授
II (90分)	10:40～12:10	住まいの知恵と工夫～「ことば」から読み解く～ 長田 城治 講師
III (90分)	13:10～14:40	快適な衣生活 難波 めぐみ 准教授
IV (90分)	14:50～16:20	
評価(30分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 I コマは、食品に含まれる天然由来の放射性物質や事故前における放射性セシウム汚染等広い視野から食品の選択のポイント、安全・安心について考えます。II コマは、私達が普段用いる「慣用句」や「ことわざ」を題材に、住まいに関する知恵や工夫を解説します。III・IVコマは、衣生活が抱える諸問題から、安全で快適な衣生活の工夫について実習を通し考えます。

8月1日(水)

⑩家庭科Ⅲ 食生活と健康 <定員40名>

時限	時間	内容及び担当者
I (95分)	8:55～10:30	「卵の調理特性」実験と実習 菊池 節子 准教授 善方 美千子 助教
II (90分)	10:40～12:10	
III (90分)	13:10～14:40	
IV (90分)	14:50～16:20	ライフステージにおける現代の栄養問題 先崎 和子 准教授
評価(30分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 I～IIIコマは、身近な食品である卵を取り上げ、卵の調理特性である起泡性、乳化性、希釈性、熱凝固性についての簡単な調理実験ならびに実習を行います。また、試食を通して、それぞれの特性を五感を通して確認します。IVコマは、国民栄養調査結果から生活習慣の状況を明らかにし、ライフステージに応じた健康づくりの取り組みを考えていきます。

幼稚園教諭対象 (⑪～⑬ 3日間の受講)

⑪7月30日(月) 幼稚園Ⅰ 現代の子どもの劇表現と安全、体験 <定員120名>

時 限	時 間	内 容 及 び 担 当 者	
		Aグループ	Bグループ
I (95分)	8:55～10:30	劇づくりで育つ子どもたち 山本 直樹 有明教育芸術短期大学 准教授	安全管理と応急処置 永瀬 悦子 講師
II (90分)	10:40～12:10		子どもの成長と体験 —小学校での学びに向けて— 山上 裕子 准教授
III (90分)	13:10～14:40	安全管理と応急処置 永瀬 悦子 講師	劇づくりで育つ子どもたち 山本 直樹 有明教育芸術短期大学 准教授
IV (90分)	14:50～16:20	子どもの成長と体験 —小学校での学びに向けて— 山上 裕子 准教授	
評価(30分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価	

【講習内容】 新幼稚園教育要領の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」へと繋がる体験について考えます。また、乳幼児の事故の状況を把握し、安全な環境整備の必要性を理解します。包帯・三角布(ハンカチ含む)を利用した応急処置の実際を学習します。劇的表現(ドラマ)の体験を通して、自己表現やそれを他者と交流することの楽しさを改めて体感し、その体験を通して、表現者として子どもと向き合うために必要な力、子どもの表現を促すための工夫や心構えについて受講生と共に検討します。

⑫7月31日(火) 幼稚園Ⅱ 現代の子どもの舞踊文化と自然体験活動 <定員120名>

時 限	時 間	内 容 及 び 担 当 者	
		Aグループ	Bグループ
I (95分)	8:55～10:30	子どもの舞踊の世界 —柳 智子 教授	子どもとひらく科学の世界 伊藤 哲章 講師
II (90分)	10:40～12:10		子どもとひらく科学の世界 伊藤 哲章 講師/柴田 卓 講師
III (90分)	13:10～14:40	子どもとひらく科学の世界 伊藤 哲章 講師	子どもの舞踊の世界 —柳 智子 教授
IV (90分)	14:50～16:20	子どもとひらく科学の世界 伊藤 哲章 講師/柴田 卓 講師	
評価(30分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価	

【講習内容】 子どもがリズム的で表現的な運動遊びを体験的・イメージ的に親しむために、保育者自身の舞踊の知識開発とイメージ作りを行います。また、子どもが探究的な活動を行うときに保育者が念頭におくべきポイントについてワークショップを通して体験し、自然体験活動の実践例も紹介します。

⑬8月1日(水) 幼稚園Ⅲ 現代の子どもの造形表現と音楽表現 <定員120名>

本学でグループ、クラス分けをいたします。

時 限	時 間	内 容 及 び 担 当 者	
		Aグループ	Bグループ
I (95分)	8:55～10:30	1. 創作イメージと描画表現力を育む 早川 仁 准教授 2. 体感する造形遊び 草野 葉子 准教授	音楽で育つ子どもの世界 三瓶 令子 教授 菅原 美謝 非常勤講師
II (90分)	10:40～12:10		音楽で育つ子どもの世界 三瓶 令子 教授 菅原 美謝 非常勤講師
III (90分)	13:10～14:40	3. 創作イメージと描画表現力を育む 早川 仁 准教授 4. 体感する造形遊び 草野 葉子 准教授	3. 創作イメージと描画表現力を育む 早川 仁 准教授 4. 体感する造形遊び 草野 葉子 准教授
IV (90分)	14:50～16:20		
評価(30分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価	

【講習内容】 創作物の制作等の活動を行います。造形要素を生かし、既成概念を取り払った豊かな発想力・造形力を身に付け、保育現場で実際に生かせる力を身に付けます。また保育者自身が音楽の「表現者」として成長するとともに、幼児の「表現を育てるもの」として成長すること等について、ワークショップを通して体験します。

美術科（中・高教諭対象）（⑭～⑯ 3日間の受講）

7月30日(月)

⑭美術科 I 好きな絵をハートで描く <定員15名>

時 限	時 間	内 容 及 び 担 当 者
I (95分)	8:55～10:30	新しい表現への試み 浅野 章 教授
II (90分)	10:40～12:10	
III (90分)	13:10～14:40	
IV (90分)	14:50～16:20	
評価(30分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 「上手い絵」と「いい絵」は必ずしも同じではありません。大人は何故、幼児の素朴な絵に感動するのでしょうか。そこには純粋な気持ちと生き生きとした心が感じ取れます。本講座ではご自身の、思い出の写真をコピー機で自由に拡大・縮小しバランスを見ながらボール紙台紙に貼り込み、彩色して独創的世界を創りだしていきます。

7月31日(火)

⑮美術科 II プリントによる伝達表現及び映像表現 <定員15名>

時 限	時 間	内 容 及 び 担 当 者
I (95分)	8:55～10:30	凸版、凹版、孔版を用いた作品製作 齊藤 弘久 教授
II (90分)	10:40～12:10	
III (90分)	13:10～14:40	映像表現—スキャニメーションの制作— 小松 太志 准教授
IV (90分)	14:50～16:20	
評価(30分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 I・IIコマは、グラフィックデザインにおける印刷技術の活用と表現手段を解説し、凸凹版を制作します。III・IVコマは近代からの映像装置を概説後、手描きの画像をコンピュータで編集して、スキャニメーションを制作します。

8月1日(水)

⑯美術科 III 木を用いた授業の指導について <定員15名>

時 限	時 間	内 容 及 び 担 当 者
I (95分)	8:55～10:30	木彫作品制作 黒沼 令 講師
II (90分)	10:40～12:10	
III (90分)	13:10～14:40	
IV (90分)	14:50～16:20	
評価(30分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】 本講習では木彫作品の制作を通して、木材の性質、道具の種類や扱い方など木彫の基本的な技能の習得と、中学生や高校生を対象とした授業素材としての木の性質的な魅力や制作過程における教育的意義などを検討することを目標とします。

音楽科（中・高教諭対象）(⑰～⑲) 3日間の受講)

7月30日(月)

⑰音楽科 I 指導法・楽器論・伴奏法 <定員20名>

時限	時間	内容及び担当者
I (95分)	8:55～10:30	音楽科指導の工夫～音楽を形づくっている要素と音楽レトリック～ 磯部 哲夫 准教授
II (90分)	10:40～12:10	
III (90分)	13:10～14:40	管楽器の基礎知識と指導のポイント 南川 肇 講師
IV (90分)	14:50～16:20	ピアノ伴奏のポイント 横溝 聡子 准教授
評価(30分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】「音楽科指導の工夫」ではレトリック(音楽修辞)を用いて効果的な音楽表現法を実践します。現場ですぐに役立てることが出来るように解説します。「管楽器の基礎知識と指導のポイント」では、楽器の簡単な特性を理解し、呼吸法やアーティキュレーションなど、指導のポイントを解説します。「ピアノ伴奏のポイント」では、教科書の楽曲、コンクール等の合唱、その他の伴奏のポイントについて解説し、実践します。

7月31日(火)

⑱音楽科 II 編曲法・歌唱法 <定員20名>

時限	時間	内容及び担当者
I (95分)	8:55～10:30	アレンジに挑戦しよう～器楽曲・合唱曲の編曲法の実践について～ 岡部 富士夫 非常勤講師
II (90分)	10:40～12:10	
III (90分)	13:10～14:40	教員のための歌唱表現講座～発声の基本と応用、歌唱指導のポイント～ 磯部 哲夫 准教授
IV (90分)	14:50～16:20	
評価(30分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】「アレンジに挑戦しよう」では移調楽器の考え方に加えて、和声、対位法との関連を学び、室内楽や合唱の簡単なアレンジに挑戦します。また現場での問題について話し合い、解決の糸口を探ります。「教員のための歌唱表現講座」では発声指導の基盤と応用、感性を歌唱で表現するための歌唱指導等、日頃学校現場で歌唱について感じている問題の解決を目指します。

8月1日(水)

⑲音楽科 III 指揮法の基本と応用 <定員20名>

時限	時間	内容及び担当者
I (95分)	8:55～10:30	指揮法を学ぼう～音楽の仕組みや指揮の基本について、合奏、合唱の指導のために～ 岡部 富士夫 非常勤講師／横溝 聡子 准教授
II (90分)	10:40～12:10	
III (90分)	13:10～14:40	
IV (90分)	14:50～16:20	
評価(30分)	16:20～16:50	受講生による講習内容についての評価

【講習内容】「指揮法を学ぼう」では実際の指揮法の基本について学び、形式や和声法などの楽曲分析を行う事によって楽曲を正しく演奏に結び付けていくテクニックを学びます。また、指揮法の応用では、実習を通して現在抱えている問題や悩みについて共に考えます。

【お申込みの前に】

A. 教員免許状更新講習として受講する場合

県内外、公立、私立、1種、2種、学校種、性別(男性も可)を問わず、受講可能です。
講習を受講できる方は、下記に該当する必要があります。

1. 今年度の受講該当者

●旧免許状所持者

- ① <第9グループ>最初の「修了確認期限」が平成31年3月31日
 - ・1983年(昭和58年) 4月2日～1984年(昭和59年) 4月1日生
 - ・1973年(昭和48年) 4月2日～1974年(昭和49年) 4月1日生
 - ・1963年(昭和38年) 4月2日～1964年(昭和39年) 4月1日生
- ② <第10グループ>最初の「修了確認期限」が平成32年3月31日
 - ・1984年(昭和59年) 4月2日以降生まれ
 - ・1974年(昭和49年) 4月2日～1975年(昭和50年) 4月1日生
 - ・1964年(昭和39年) 4月2日～1965年(昭和40年) 4月1日生

●新免許状保持者

- 「有効期間の満了の日」が平成31年3月31日の方
- 「有効期間の満了の日」が平成32年3月31日の方

2. 普通免許状又は特別免許状を有する者で、以下に該当する者

- (1) 現職教員(校長、副校長、教頭を含む。ただし、指導改善研修中の者を除く)
 - (2) 実習助手、寄宿舎指導員、学校栄養職員、養護職員
 - (3) 教育長、指導主事、社会教育主事、その他教育委員会において学校教育又は社会教育に関する指導等を行う者
 - (4) (3)に準ずる者として免許管理者が定める者
 - (5) 文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程の教員
 - (6) 上記に掲げる者のほか、文部科学大臣が別に定める者
- また、今後教員になる可能性が高い者として、
- (7) 教員採用内定者
 - (8) 教育委員会や学校法人などが作成した臨時任用(または非常勤)教員リストに登載されている者
 - (9) 過去に教員として勤務した経験のある者
 - (10) 認定こども園で勤務する保育士
 - (11) 認可保育所で勤務する保育士
 - (12) 幼稚園を設置する者が設置する認可外保育施設で勤務している保育士も、更新講習を受講することができます。

※ 更新講習を受講する際には受講対象者であることを証明する必要があります。つまり、受講対象者は、身分証など本人確認を行うことができる書類及び勤務する学校の校長、その者を雇用しようとする者または臨時任用(または非常勤)教員リストを作成している者などが行う受講対象者であることの証明が必要になります。

(文部科学省 HP、「免許状更新講習の受講対象者」より一部抜粋)

3. 講習料(更新事務手続き料込み)

- 必修領域 6,000 円
- 選択必修領域 6,000 円
- 選択領域 18,000 円(3日間) ※家庭科は、18,500 円(教材費込)

B. リカレント生として受講する場合

1. ご自分の専門性をさらに高めたい、興味・関心があり、教員免許状更新を目的としない方。
2. 講習料(更新事務手続き料なし)
 - 必修領域 5,000 円
 - 選択必修領域 5,000 円
 - 選択領域 15,000 円(3日間) ※家庭科は、15,500 円(教材費込)
3. 修了証書等の発行はありません。
4. **お申込み後、免許状更新講習への変更はできませんので、ご注意ください。**

その他

- ・定員に達した時点で締め切らせていただきますので、予めご了承ください。
- ・選択領域は、3日間の受講です。1日ごとの受講はできませんので、ご注意ください。
- ・選択必修領域、選択領域では、I時限目の始めに、5分程度のオリエンテーションをおこないます。
- ・担当者は、変更になる場合もあります。
- ・各時間の中で試験等をおこない、総合して最終評価を出します。

【お申込み手続きの仕方】

A. 教員免許状更新講習の場合

1. 本ホームページ上の申込フォームにアクセスし、必要事項を入力します。
2. 送信後、申込受付メール(自動設定)が送られてきます。このメールは、受講票(受講正式決定)が手元に届くまで、大切に保管してください。
 - ※お申込み推奨環境はパソコンですが、**スマートフォンでのお申込みも可能です。**
 - ※今後の連絡のため、パソコンより受信可能なアドレスを準備してください。受付漏れの原因になりますので、1メールアドレスにつき、1受付といたします。

**受付は、4月15日(日)午後12:00
～4月18日(水)午後12:00までです。**

※お問い合わせについて

受付初日(4/15)は、学園休業日のため、お問い合わせの対応は次の日(4/16)以降となります。
また、お問い合わせ状況によっては、返信が遅くなる場合がありますので、ご了承ください。
なお、受講可能かどうかのお問い合わせには一切お答えできませんので、ご注意ください。

3. 受講可能な場合、4月25日(水)付で、申込みに必要な書類一式を郵送します。
 - ◎書類が届かない場合は、残念ながら受講不可能となります。
 - ◎受講が不可能な方への通知等はありませんので、予めご了承ください。

4. 申込書類の書き方

- ①「受講申込書」と「受講票」(※印の部分のみ)の記入をしてください。
 - ・住所は略さず、アパート・マンション名、部屋番号まで記入してください。
 - ・パソコンメールから受信可能な e-mail アドレスを記入してください。
 - ・写真は、「申込書」と「受講票」、ともに同じものを貼付けてください。
- ②「受講申込書」に、各学校長、園長等から「受講申込の証明者記入欄」に受講該当者であることを証明していただきます。
 - ・証明は公職印とし、私印は不可となります。

5. 「振込金依頼書」で、受講料の振込をします。

- ・銀行の窓口、ATM でも可能です。
- ・確認のため、「振込金領収証」等を大学に提出していただくことがありますので、大切に保管してください。
- ・振込手数料は受講者負担となります。

6. 書類を郵送します。(レターパックや書留をお勧めします。)

- ・「受講申込書」、「受講票」、「アンケート」など。
- ・書類の確認、そして受講料の振込が確認できた時点で、受講者名簿に登録されます。

7. 「受講票」等が郵送されます。⇒ **受講の正式決定**となります。

8. 7月上旬、講習詳細の案内が郵送されます。

9. 受講

必須領域	7月28日(土)
選択必須領域	7月29日(日)
選択領域(3日間)	7月30日(月)～8月1日(水)

10. 修了認定の上、「修了証」(履修証明書)が郵送されます。

- ・平成30年9月28日(金)までに随時郵送いたしますが、お手元に届かない場合は、「お問い合わせフォーム」より、ご連絡ください。

11. ご自身が勤務する学校の所在する各都道府県(免許管理者)に、更新講習受講修了の申請を、各自でおこないます。

12. 更新講習終了確認書が発行されます。(再発行の際には手数料(1,000円+振込手数料)を申し受けます。)

13. 次の修了確認期間(10年後)まで、免許状有効となります。

B. リカレント生として受講する場合

- ・前述 A-4 ②の証明印は不要です。
- ・なお、本学において「生涯学習講座」を受講されている方は、2枚の写真は必要ありません。

<辞退について>

・毎年、多くの受講希望者に受講をお断りしている状況が続いております。辞退はなるべく避けていただきたいのですが、やむなく受講を辞退される場合は、必ず「お問い合わせフォーム」で、ご連絡ください。なお、一旦納入された後の返金は、手数料として、一講座(1日)につき 3,000 円+振込手数料を申し受けます。選択領域を辞退される際は3日分の辞退となります。(手数料 9,000 円+振込手数料) なお、受講開始日(7/28)以降の辞退の返金はいたしかねますので、予めご了承ください。

<お問い合わせ先>

・住所等の変更が生じた場合やご質問等は、本ホームページの「お問い合わせフォーム」から、お願いします。**電話でのお問い合わせには応じられませんので、ご注意ください。**

<書類郵送先>

〒963-8503 郡山市開成3-25-2 郡山開成学園
教員免許状更新講習 サマーリフレッシュプログラム係
「**受講申込書**在中」(← 朱書きでご記載ください。)